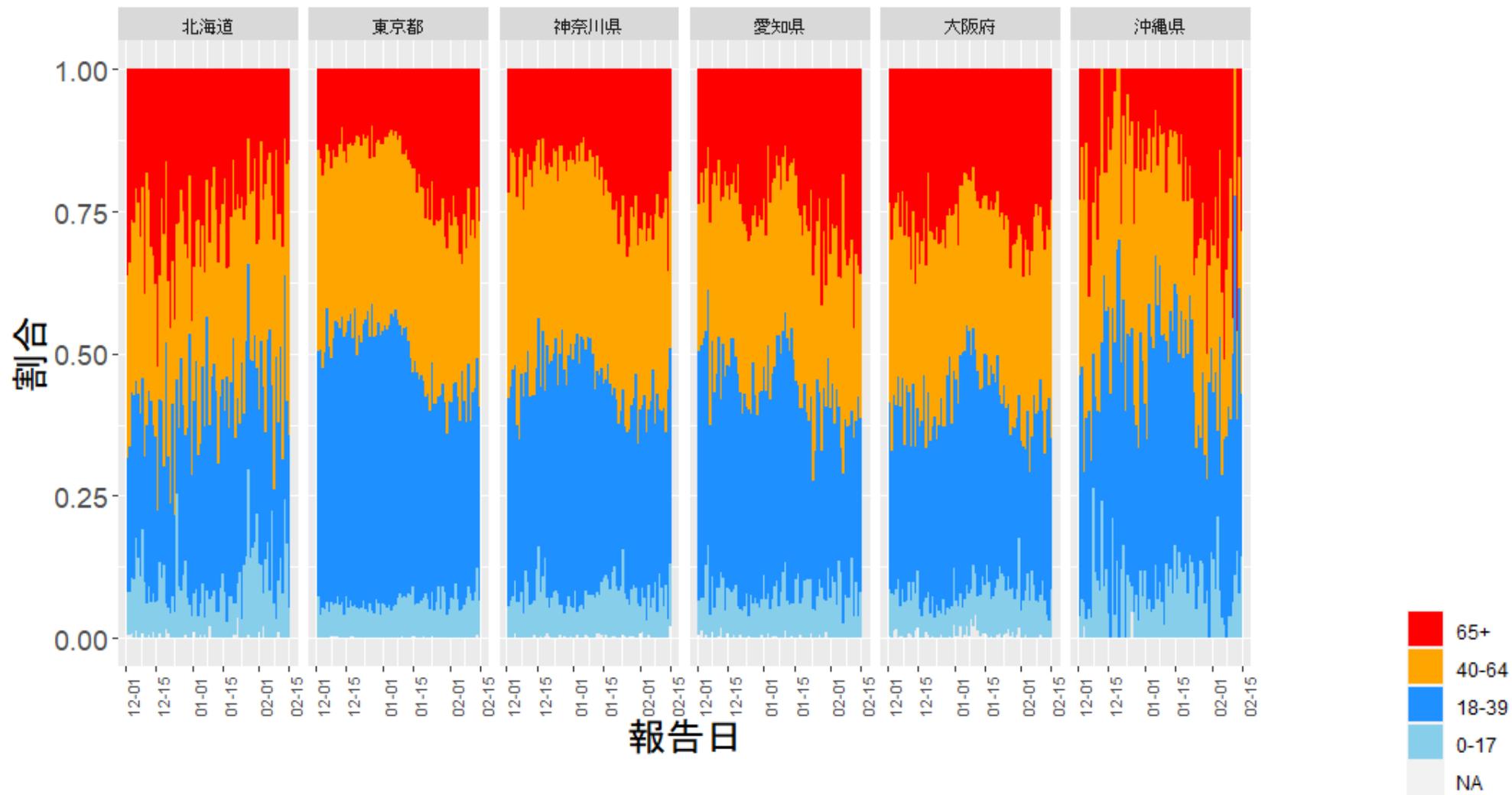
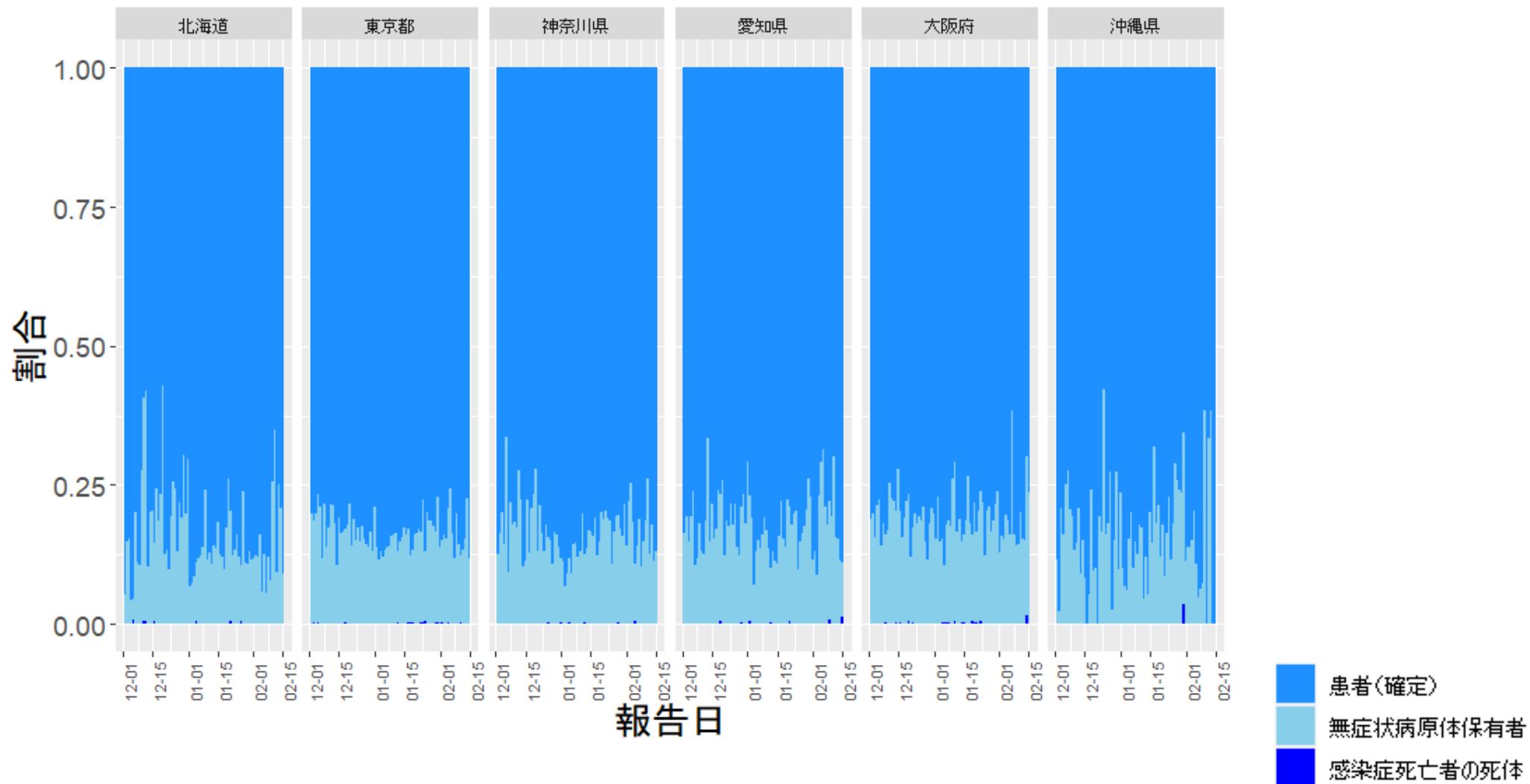


## 年齢群分布の推移：都道府県、報告日別（2月17日作成）



HER-SYSデータに基づく。

# 届け出時点の病型分布の推移：都道府県、報告日別（2月17日作成）



HER-SYSデータに基づく。  
(注) 感染症死亡者の死体：死後に新型コロナウイルス感染症によるものと判断された者

# 人口10万人あたりの7日間累積新規症例数の推移：年齢群別

## 使用データ

HER-SYSと自治体公開情報データ（2月16日時点）

## 対象地域

- 緊急事態宣言が発出されている埼玉、東京、千葉、神奈川、愛知、岐阜、京都、大阪、兵庫、福岡

## 解釈時の注意点

- HER-SYSに基づく値は、特に直近1週間については報告遅れのために過小評価となっている可能性があり、その程度は自治体によって差がある（図の灰色部分）
- 自治体公開情報データに基づく年代別の値は、年代を非公表としている症例が多い自治体については過小評価となる
- どちらのデータも完全ではないため、両者を用いた評価が必要である

## まとめ

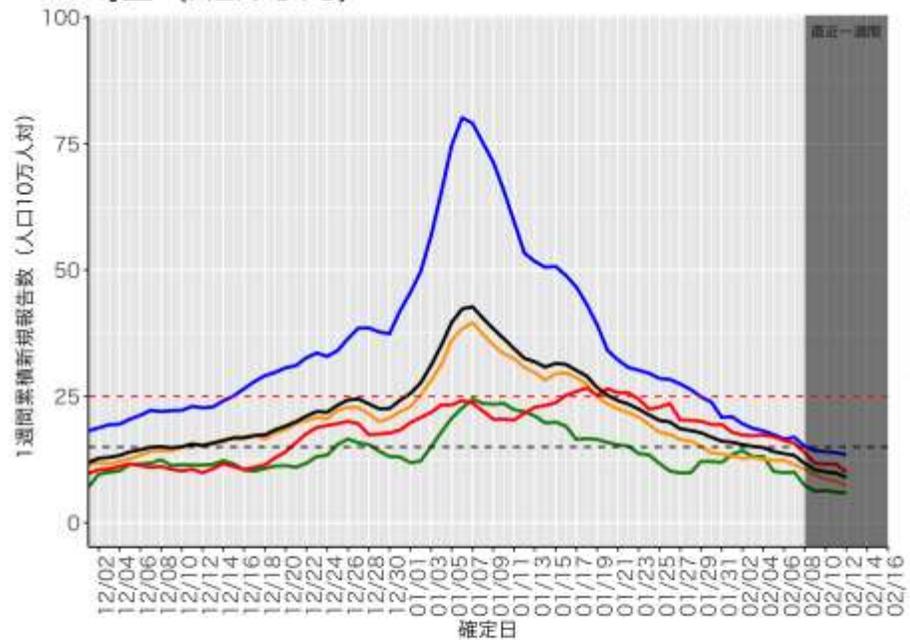
首都圏：依然として20-30歳代の陽性者数が人口当たりで多く、高齢世代の減少が他の地域に比べて緩徐である

中京圏：全世代で減少傾向

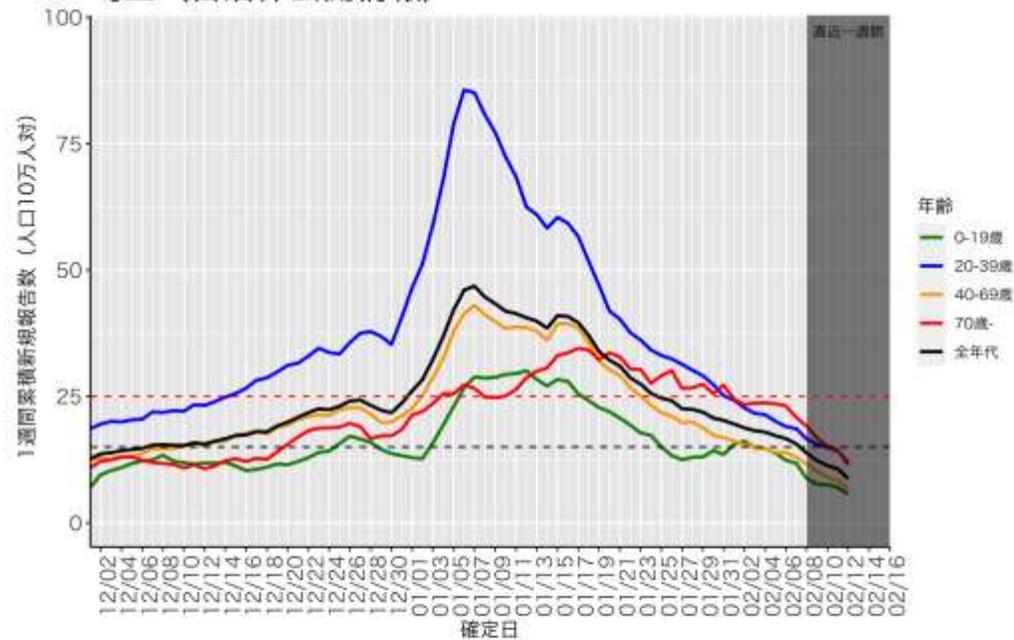
関西圏：全世代で減少傾向であるが、高齢者が相対的に多い傾向がある

福岡県：高齢世代が横ばい～微増傾向

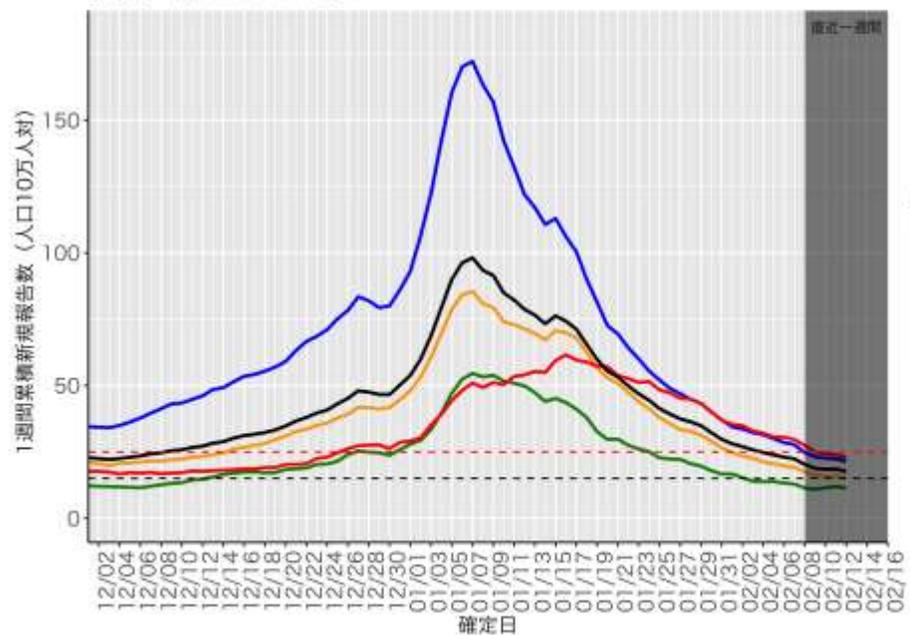
埼玉 (HER-SYS)



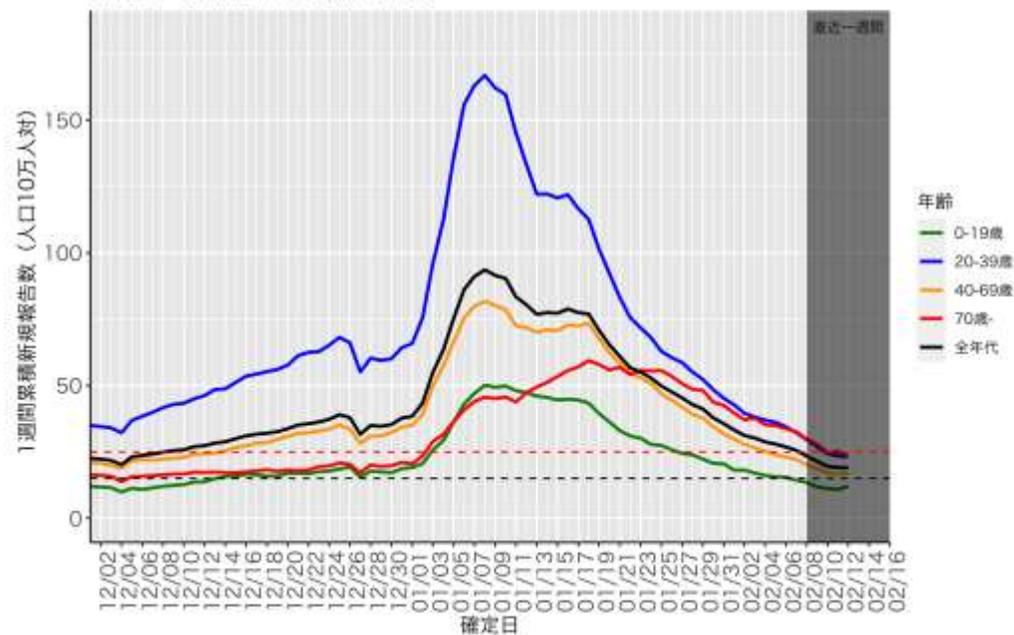
埼玉 (自治体公開情報)



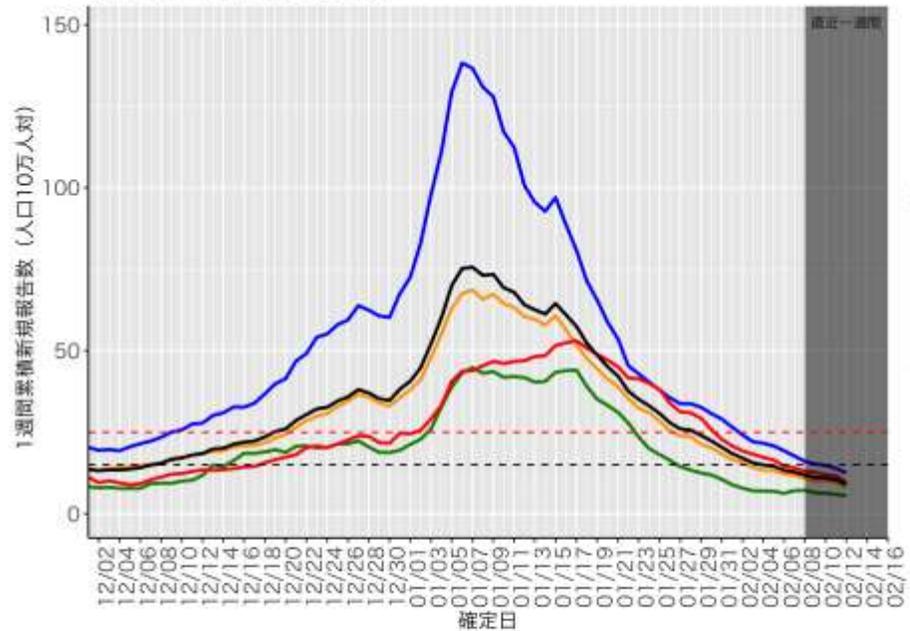
東京 (HER-SYS)



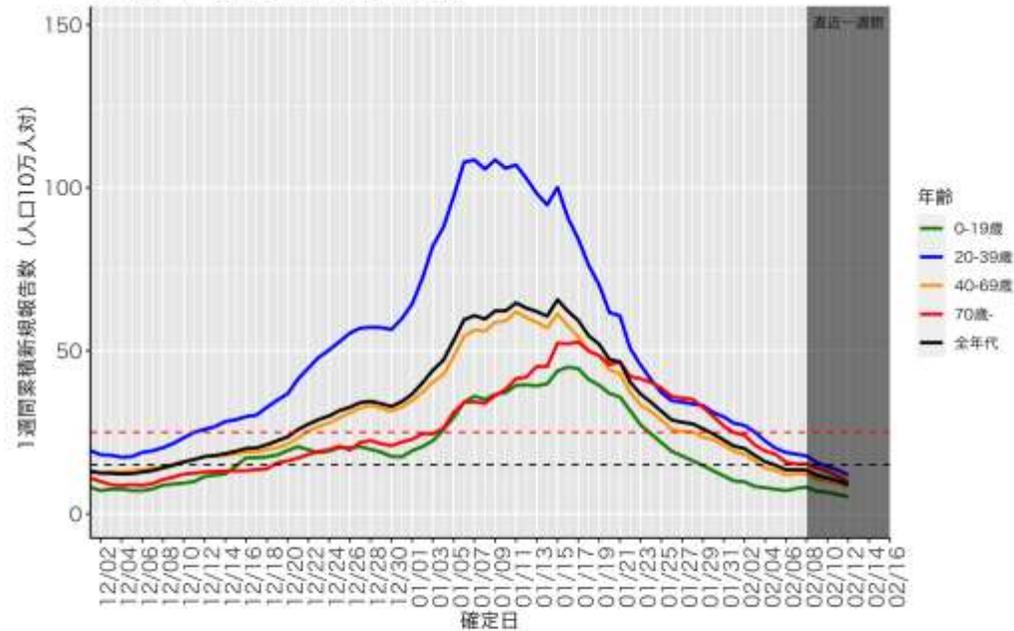
東京 (自治体公開情報)



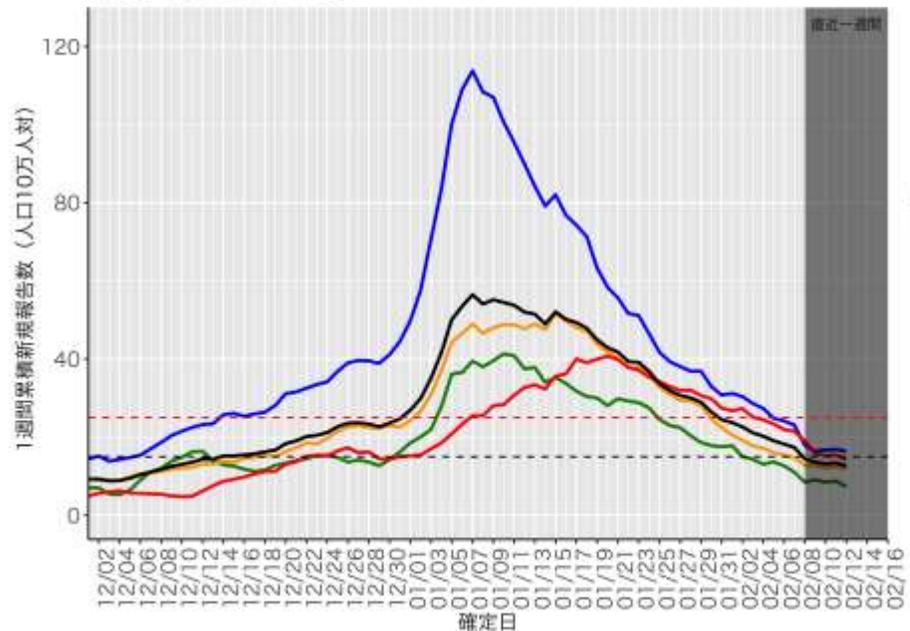
神奈川 (HER-SYS)



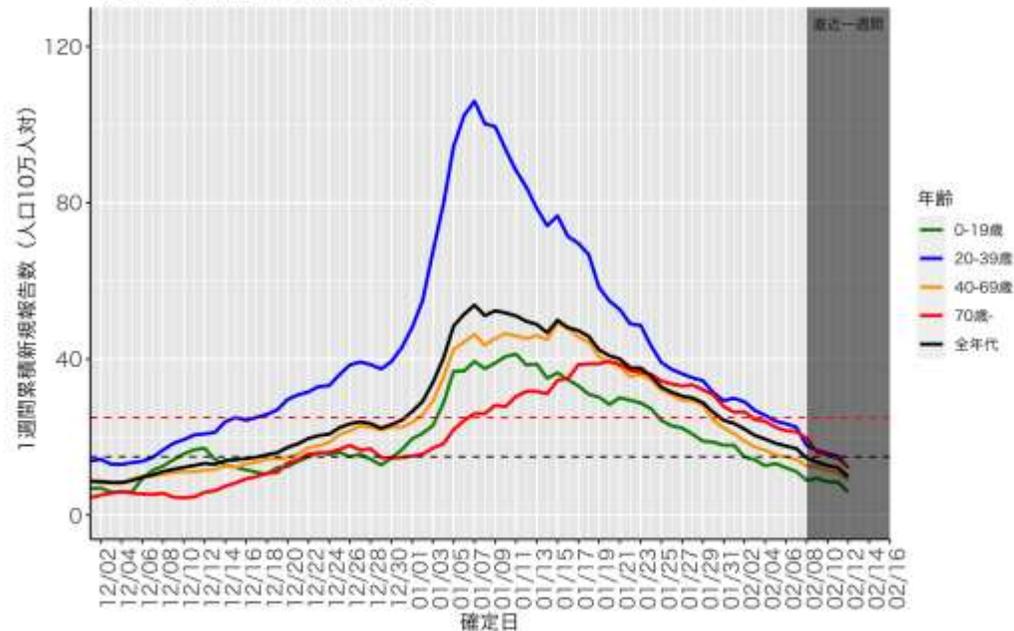
神奈川 (自治体公開情報)



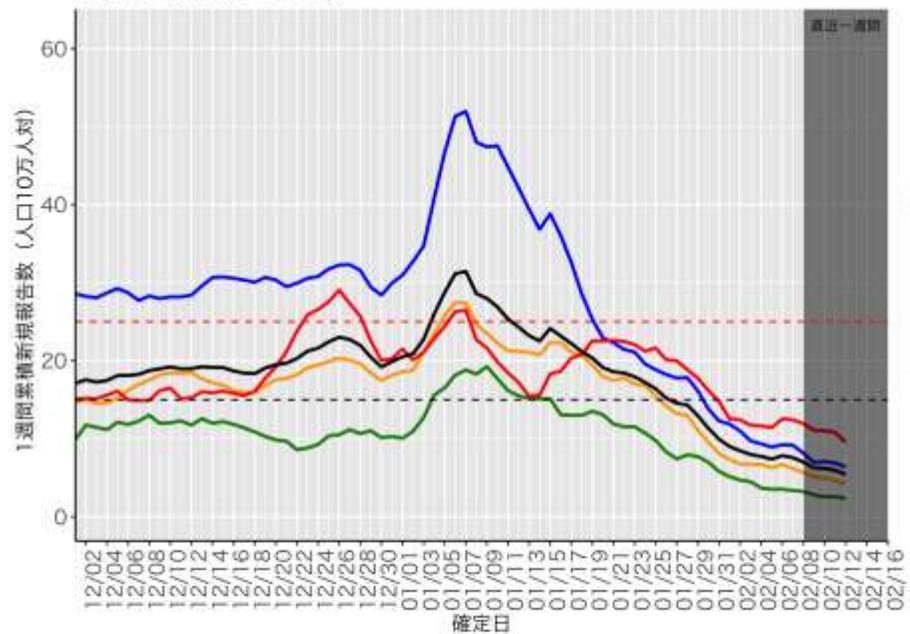
千葉 (HER-SYS)



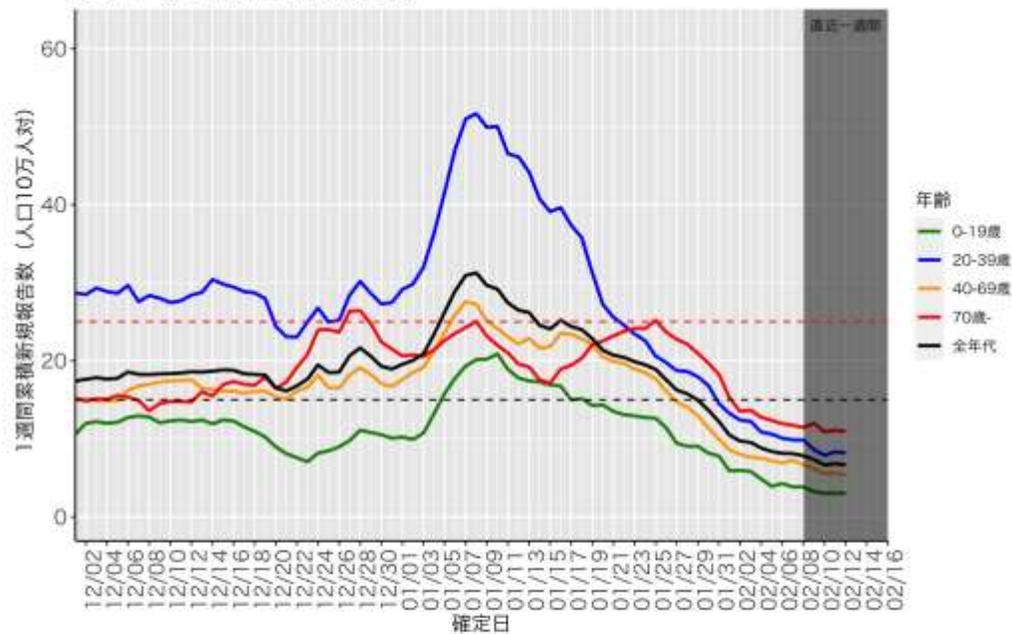
千葉 (自治体公開情報)



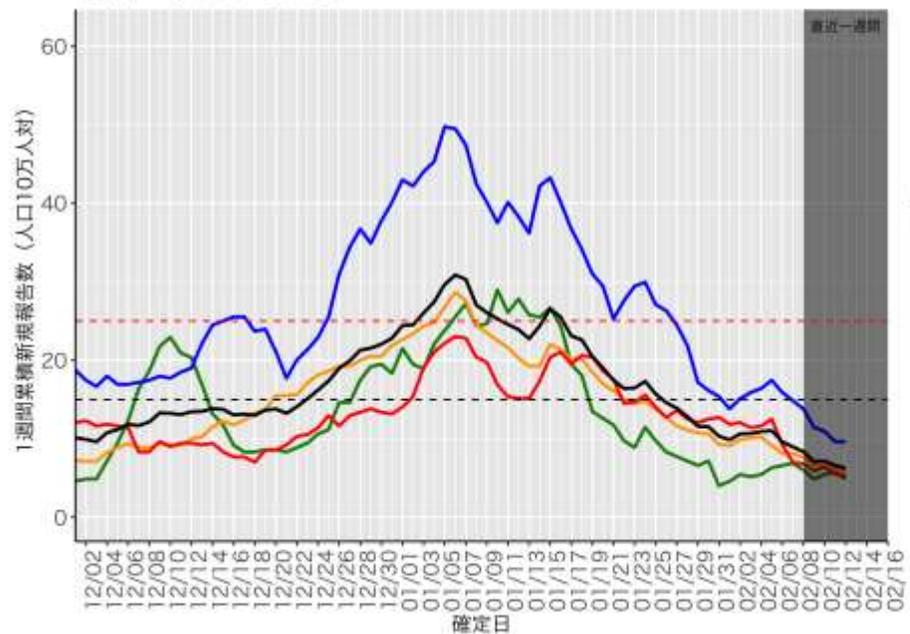
愛知 (HER-SYS)



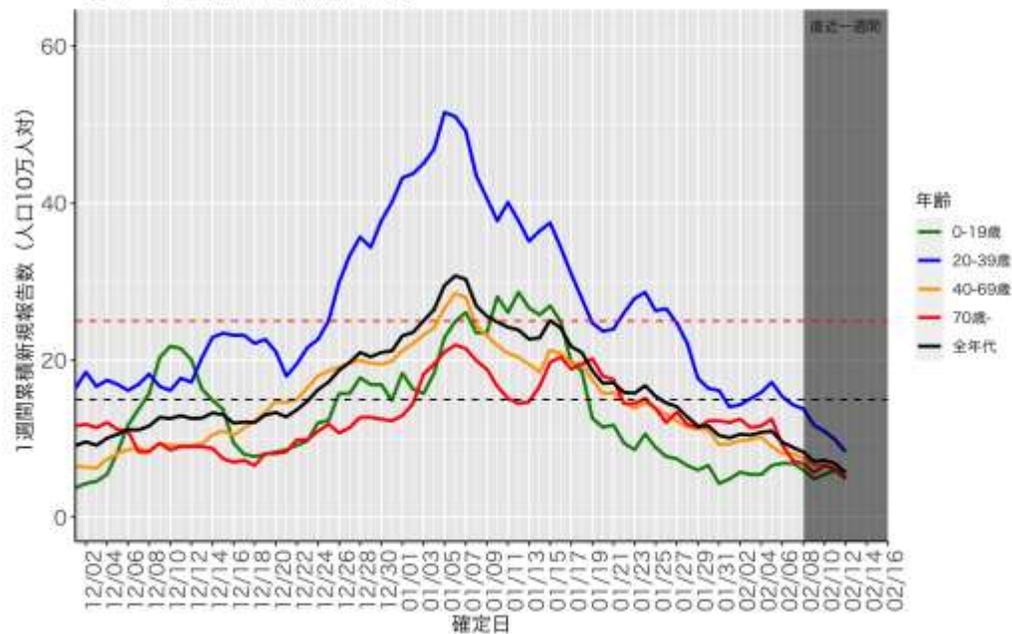
愛知 (自治体公開情報)



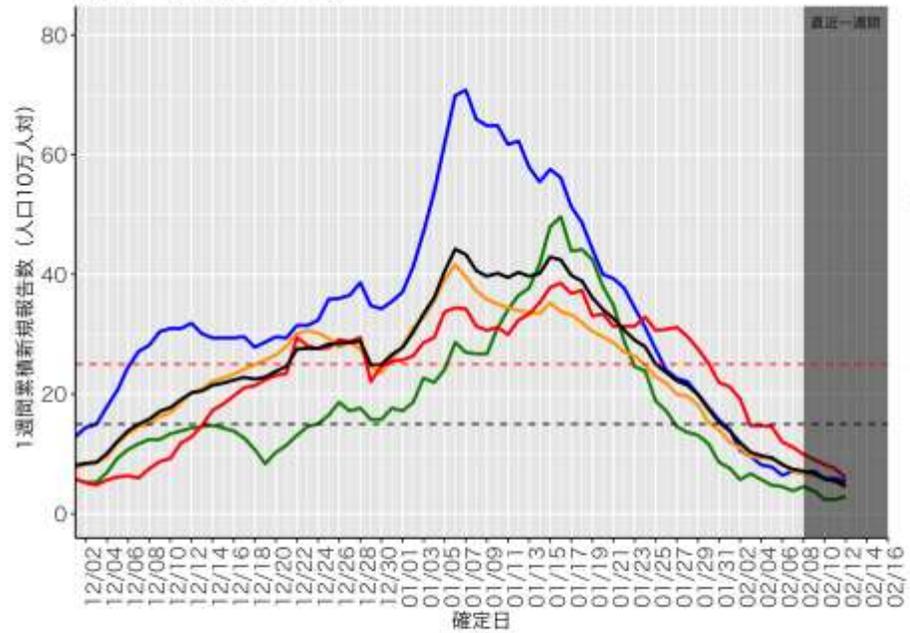
岐阜 (HER-SYS)



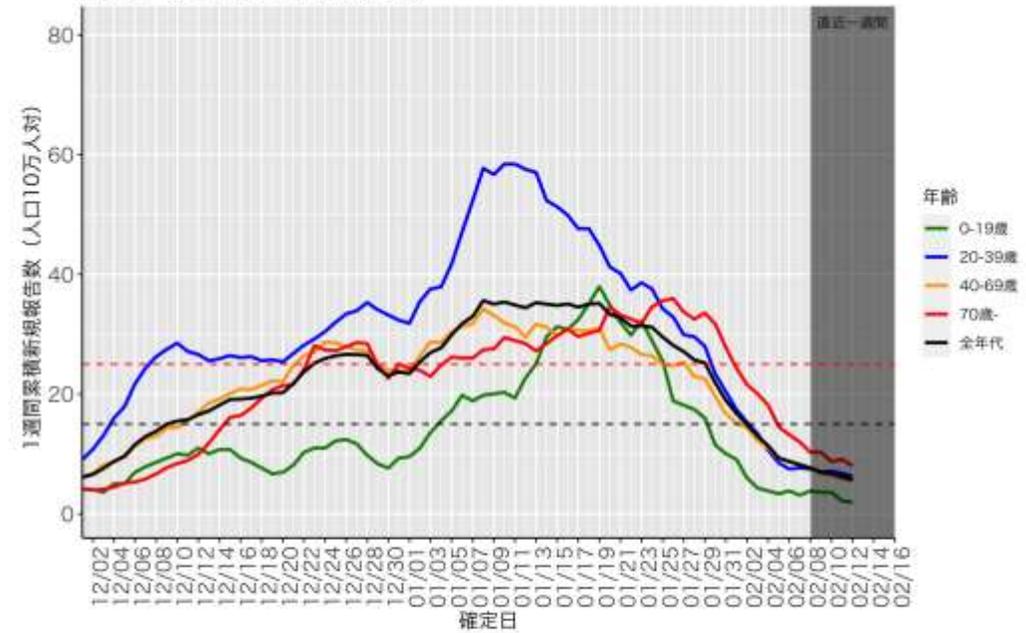
岐阜 (自治体公開情報)



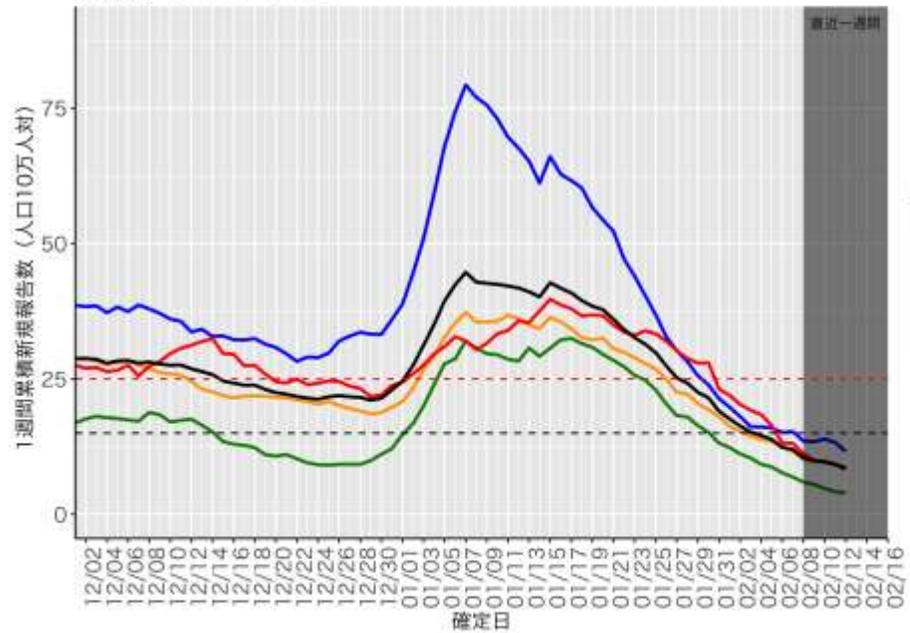
京都 (HER-SYS)



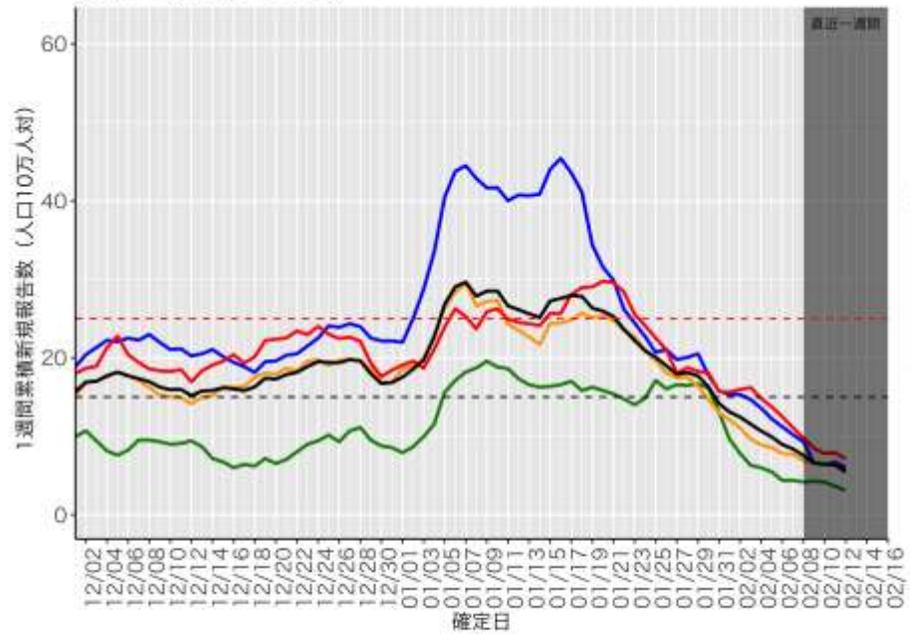
京都 (自治体公開情報)



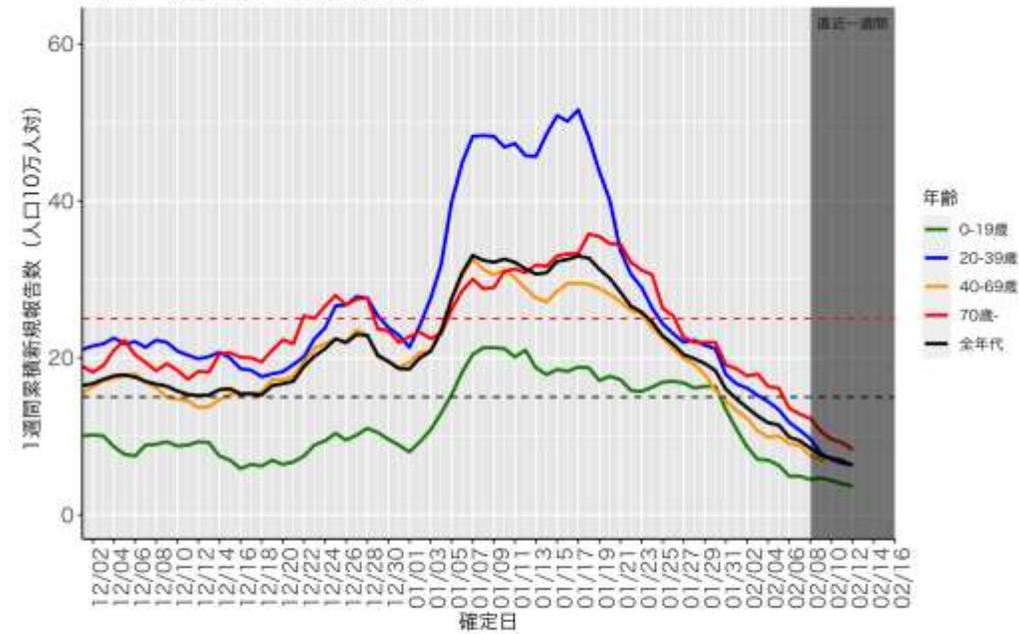
大阪 (HER-SYS)



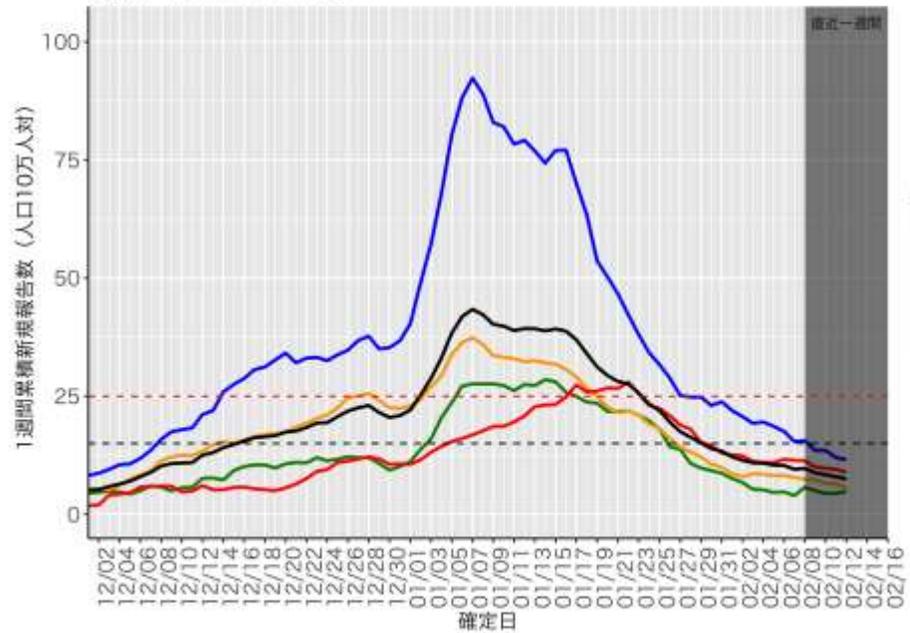
兵庫 (HER-SYS)



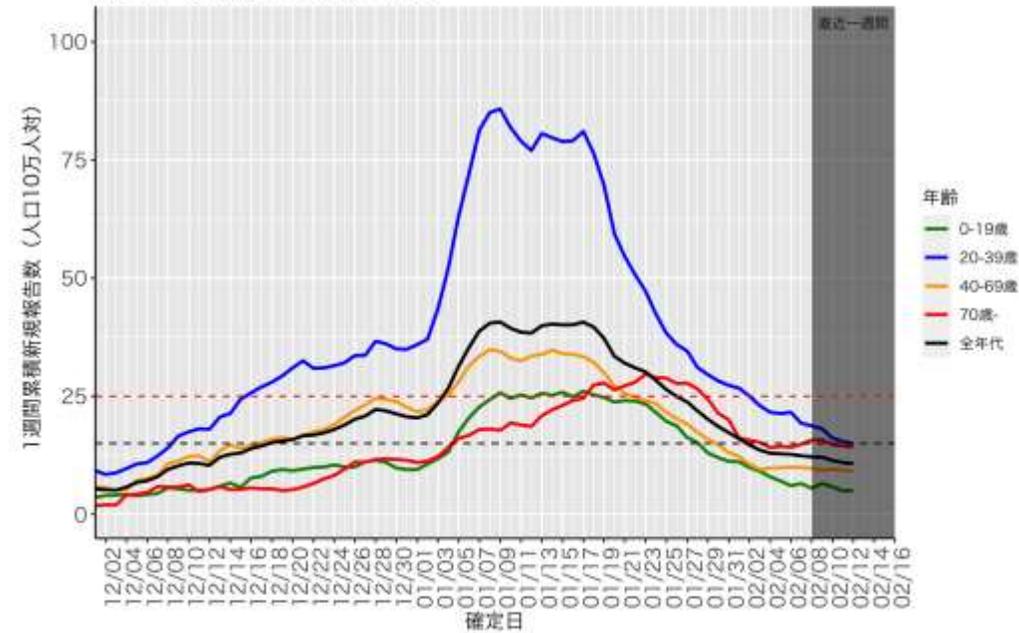
兵庫 (自治体公開情報)



福岡 (HER-SYS)



福岡 (自治体公開情報)



# 人口10万人あたりの1週間新規感染者数マップ

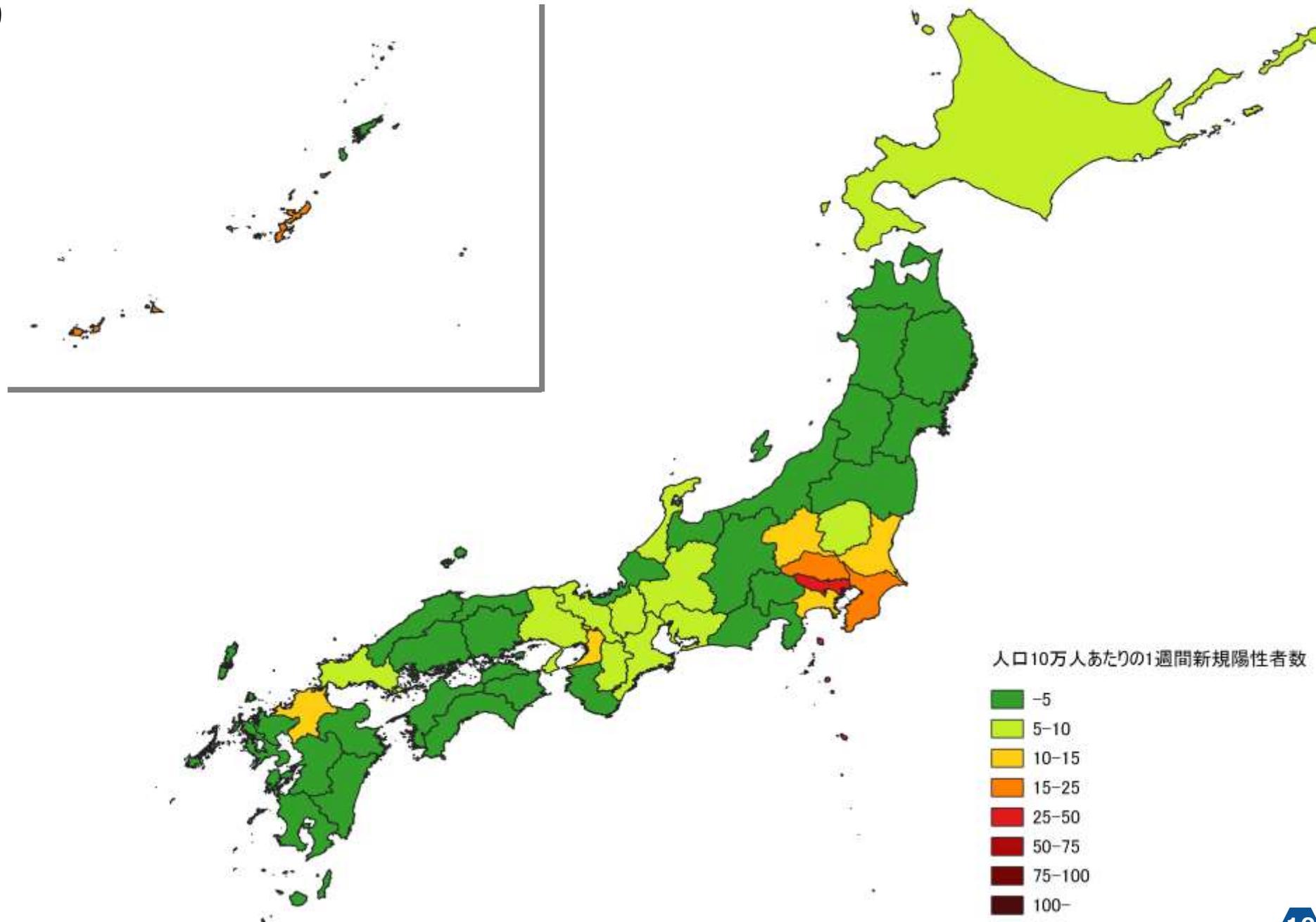
## 使用データ

- 自治体公開情報の2021年2月16日時点（2月15日公表分まで）のデータ
- 1週間前（2/3~2/9）と直近1週間（2/9~2/15）
- 確定日（公開されていない場合は報告日）ベース

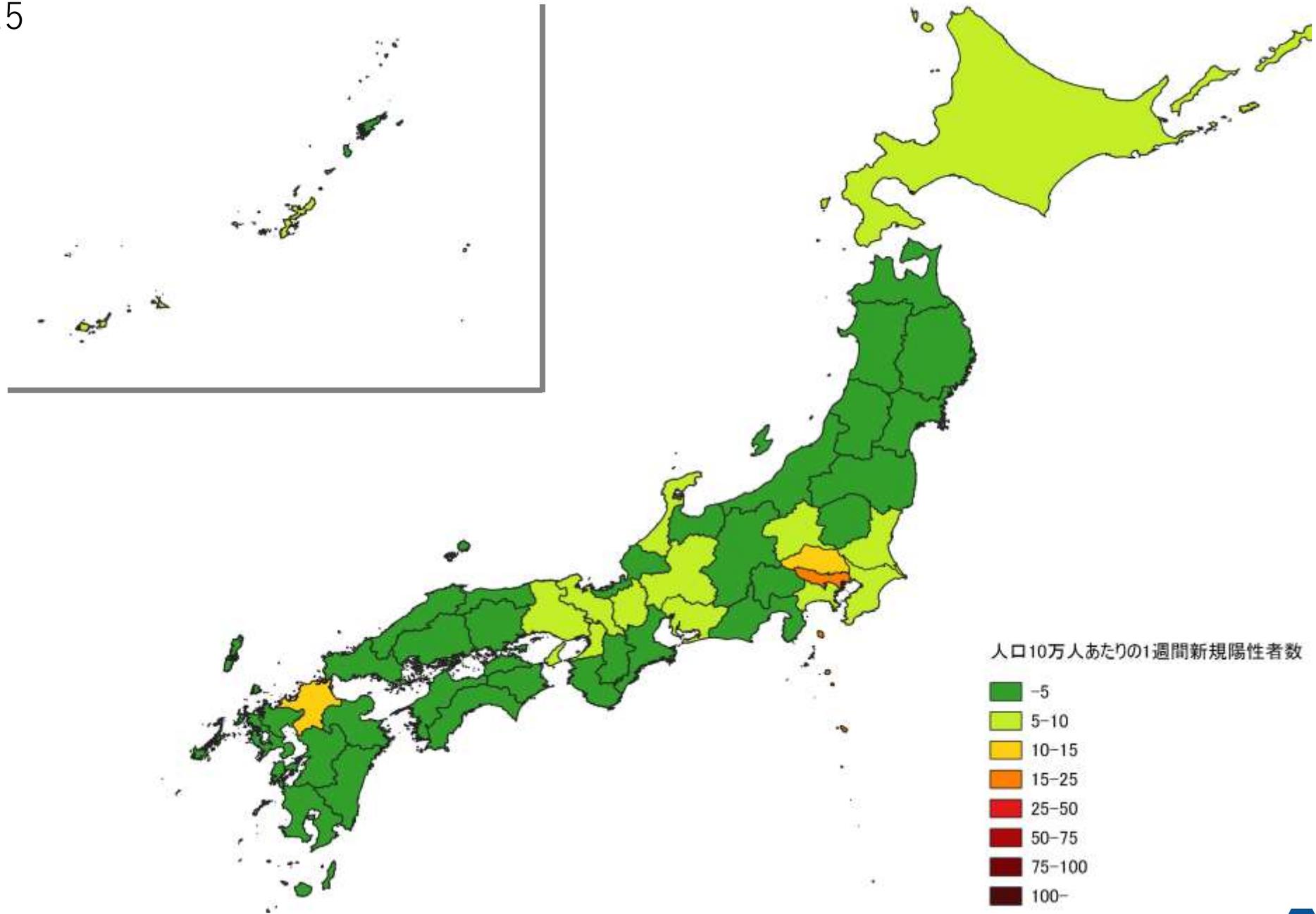
## まとめ

- 直近では、都道府県レベルではステージ4相当の地域は認めず、東京都のみがステージ3相当である。
- ただし、保健所管区レベルではステージ3~4相当の地域が首都圏、中部地方、九州地方に散見される

都道府県単位 2/3~2/9  
(自治体公開情報)

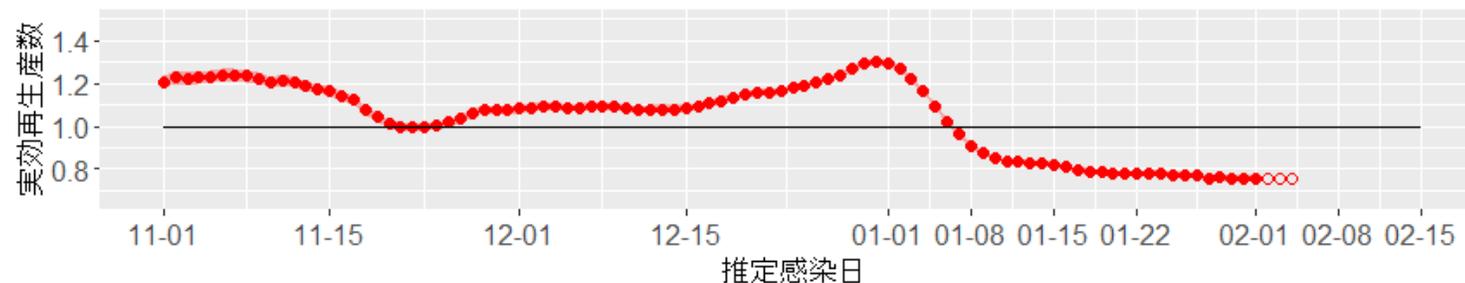


都道府県単位 2/9~2/15  
(自治体公開情報)

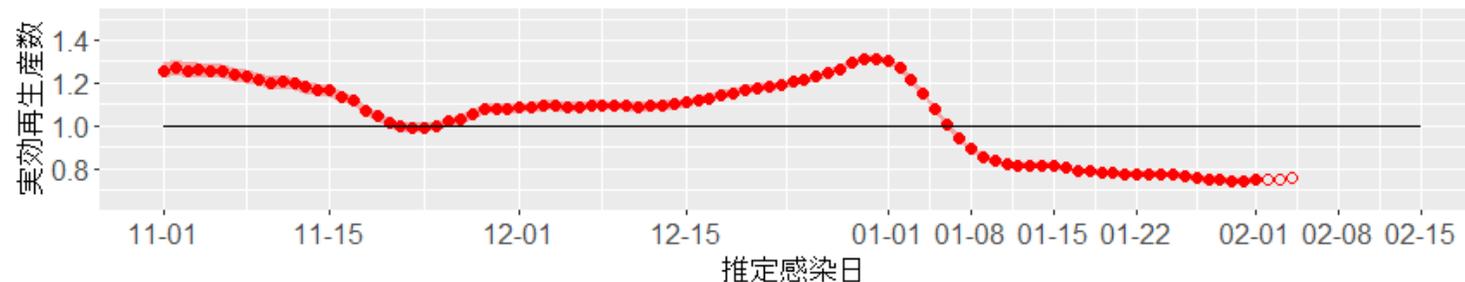


# 全国の実効再生産数（推定感染日毎）：2月17日作成

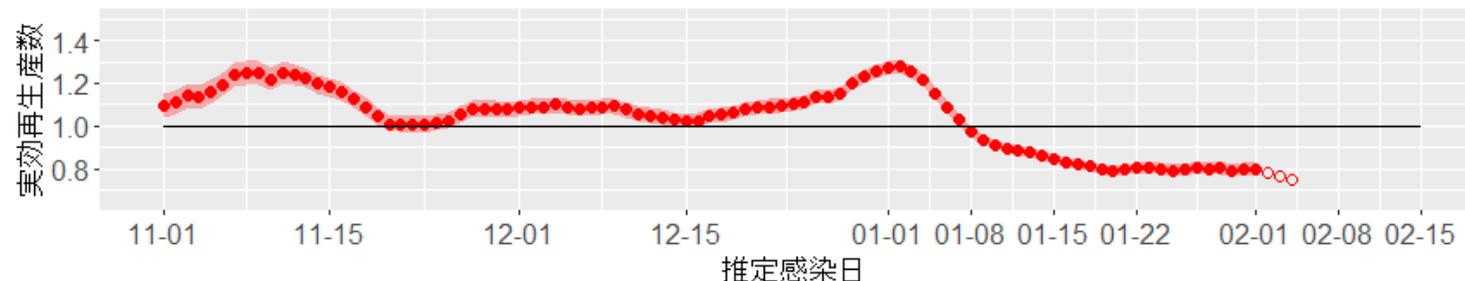
全国  
2月1日時点Rt=0.76 (0.74-0.78)



緊急事態宣言対象地域：10都府県  
2月1日時点Rt=0.75 (0.73-0.77)



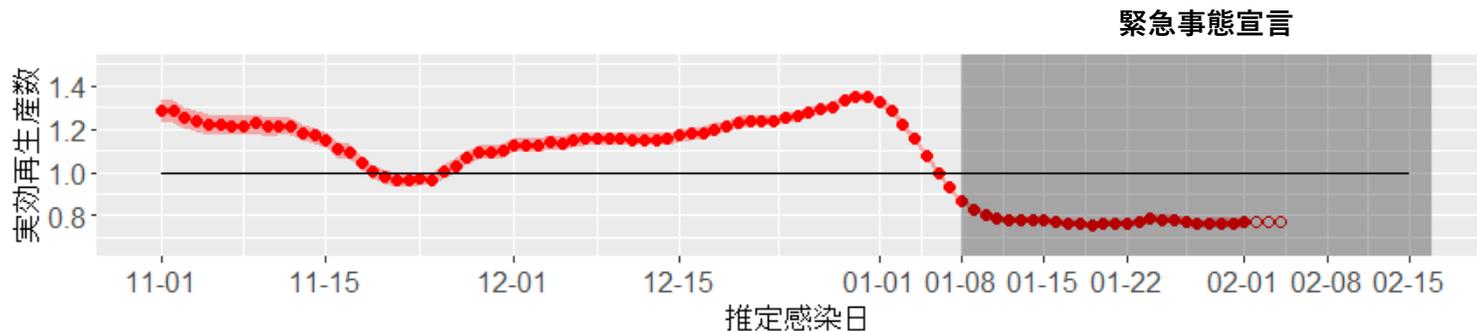
緊急事態宣言非対象地域：37道県  
2月1日時点Rt=0.79 (0.76-0.83)



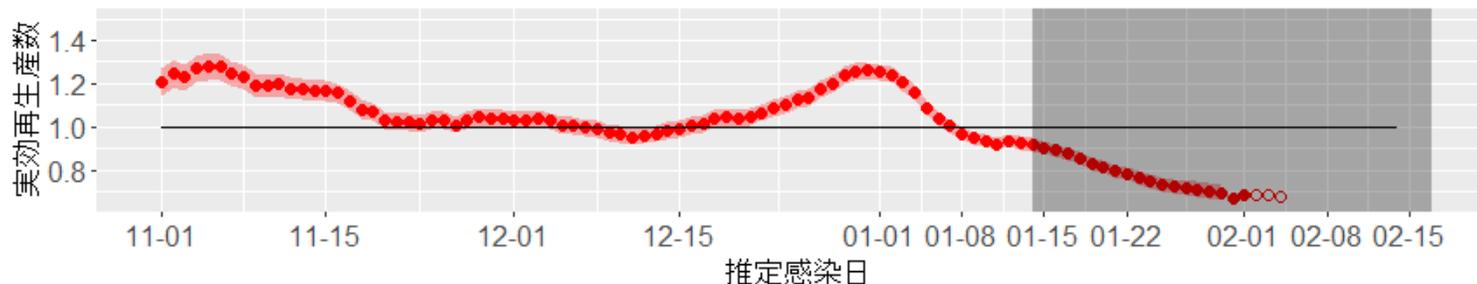
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。  
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

# 緊急事態宣言対象地域の実効再生産数（推定感染日毎）：2月17日作成

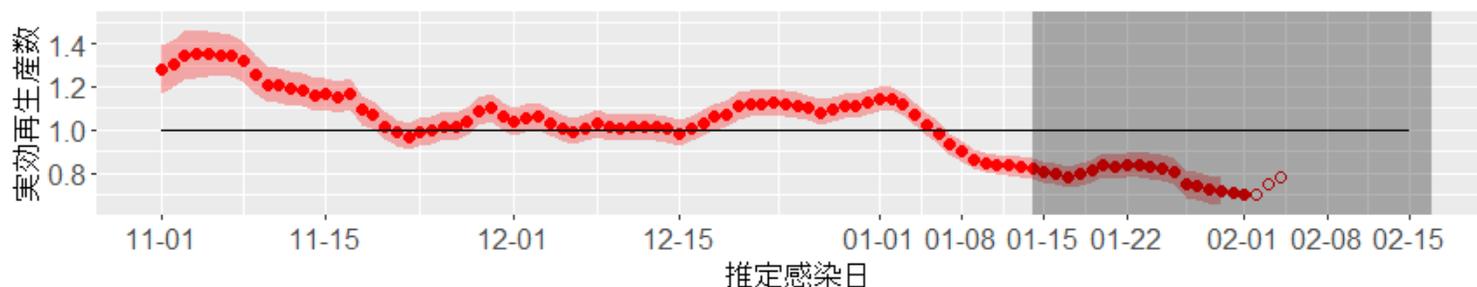
首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉  
2月1日時点Rt=0.77 (0.75-0.80)



関西圏：大阪、京都、兵庫  
2月1日時点Rt=0.68 (0.65-0.72)

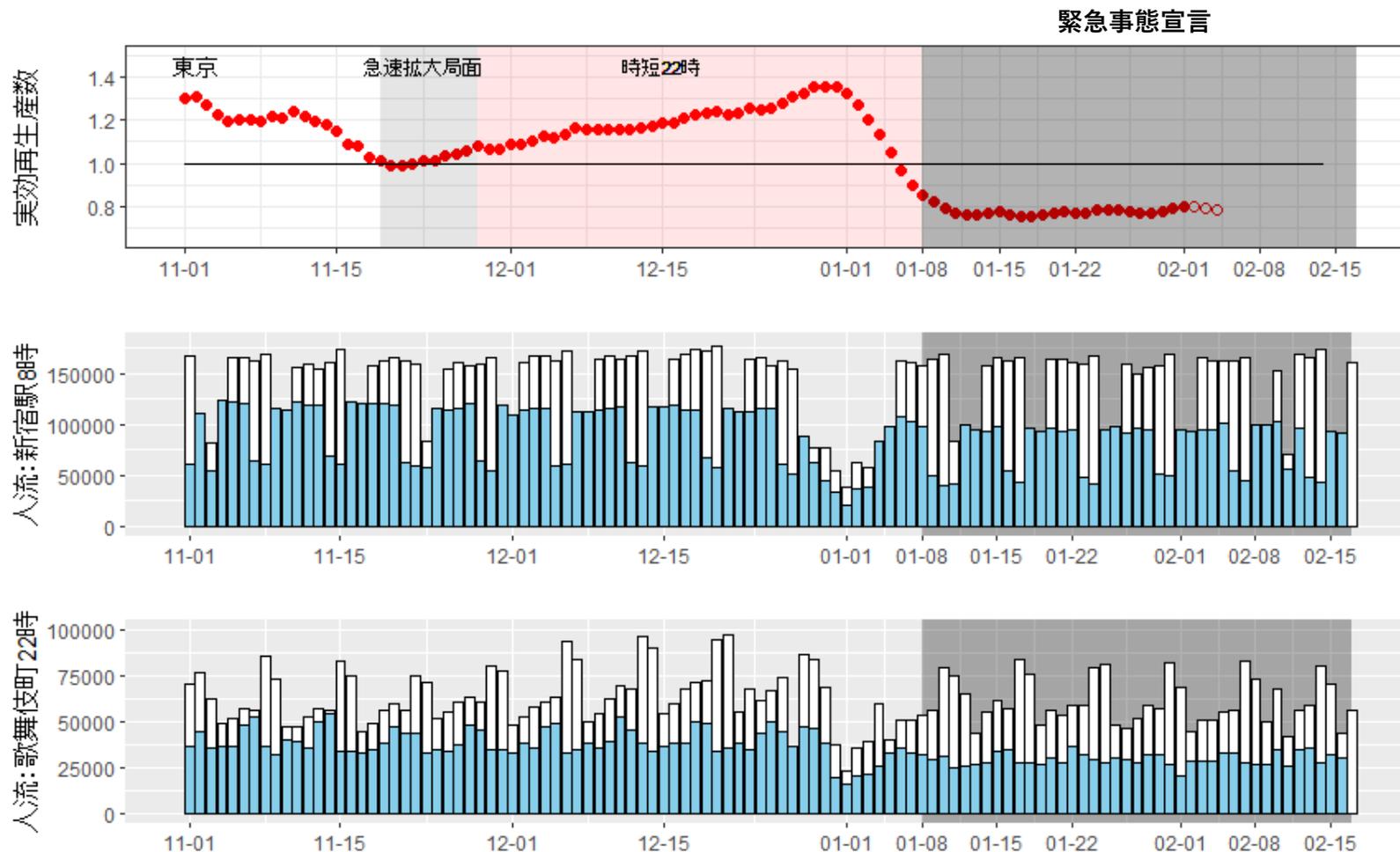


中京圏：愛知、岐阜  
2月1日時点Rt=0.70 (0.63-0.77)



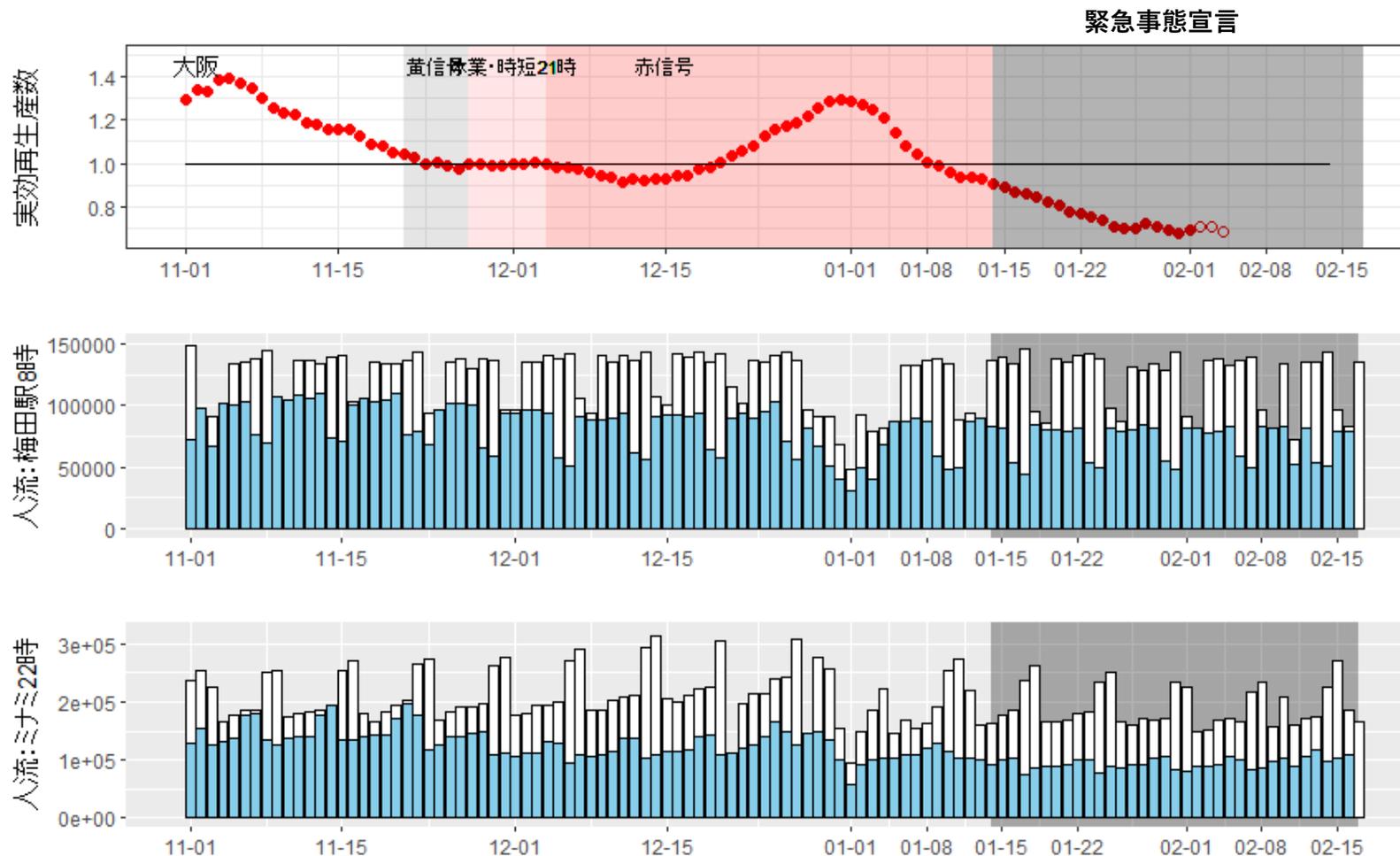
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。  
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。

# 東京都の実効再生産数（推定感染日毎）と人流：2月17日作成



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

# 大阪府の実効再生産数（推定感染日毎）と人流：2月17日作成



白 = 2019-20年  
赤 = 2020-21年

実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

## 流動人口の推移

### データ

- 2月17日時点のAgoop流動人口データ（11/1~2/16）

### 対象地域

- 緊急事態宣言が発令された東京、千葉、神奈川、埼玉、名古屋、岐阜、大阪、兵庫、京都、福岡

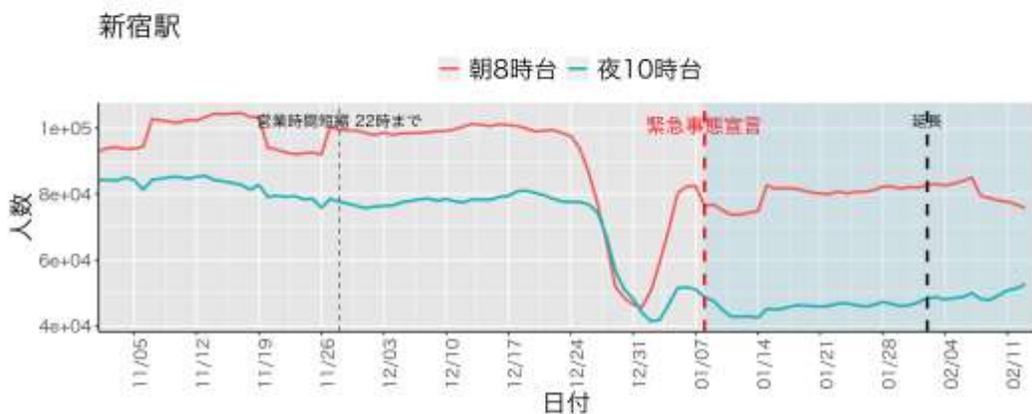
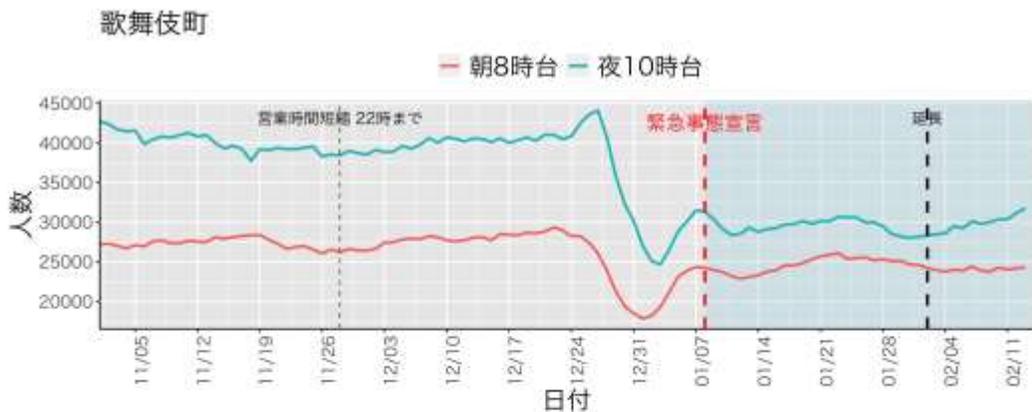
### データ表示方法

- 駅または繁華街における朝8時と夜10時の時間別流動人口の移動平均（±3日）
- 1月7日（関東地方で緊急事態宣言が発令された前日）を基準日として、2月14日時点の増減率と、緊急事態宣言以降の最大減少率を算出

### < 要点 >

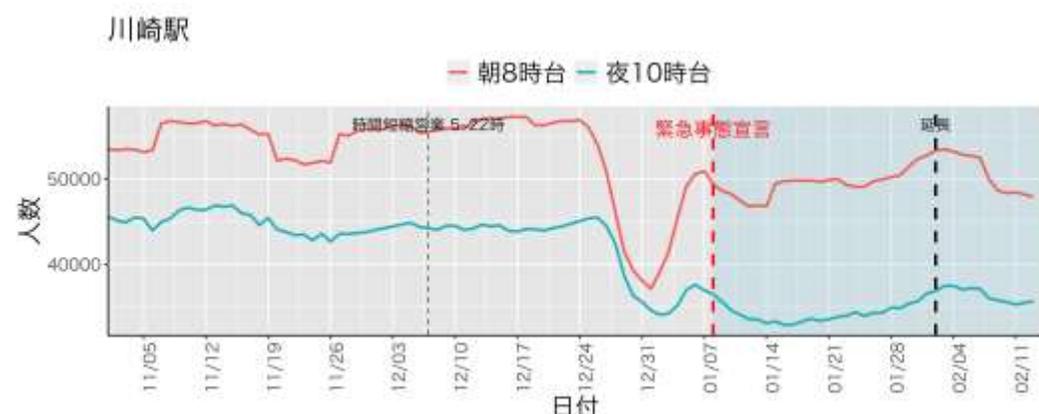
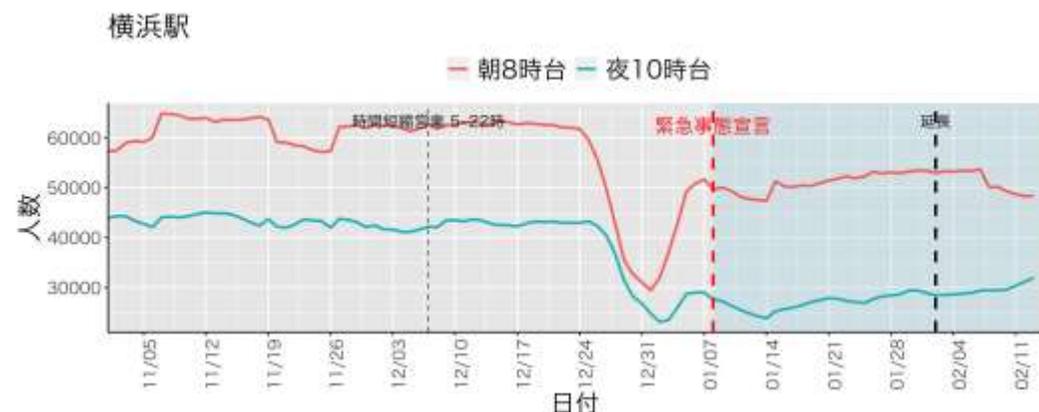
- 関東地方の夜10時の人流は緊急事態宣言前（1/7）より増加、もしくは同程度である。
- 全国的に朝8時の人流は横ばいからやや低下傾向である。

# 東京



場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
歌舞伎町	朝8時台	-0.1%	-6.1%
	夜10時台	0.9%	-11%
新宿駅	朝8時台	-8.2%	-10.6%
	夜10時台	3.1%	-16.7%

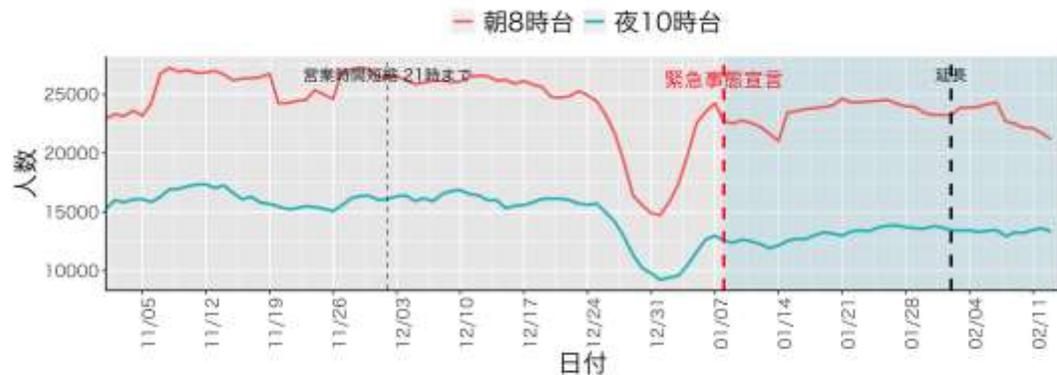
# 神奈川



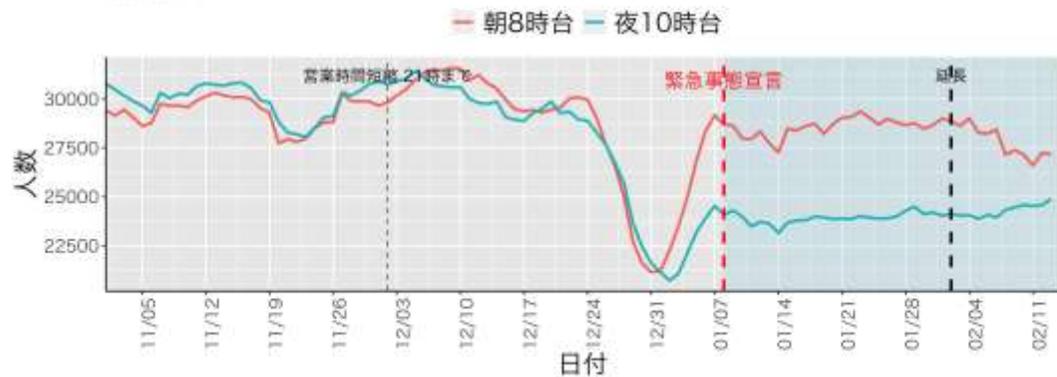
場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
横浜駅	朝8時台	-6.4%	-8.3%
	夜10時台	10.1%	-17.7%
川崎駅	朝8時台	-6%	-8.2%
	夜10時台	-3.5%	-11%

# 千葉

千葉駅



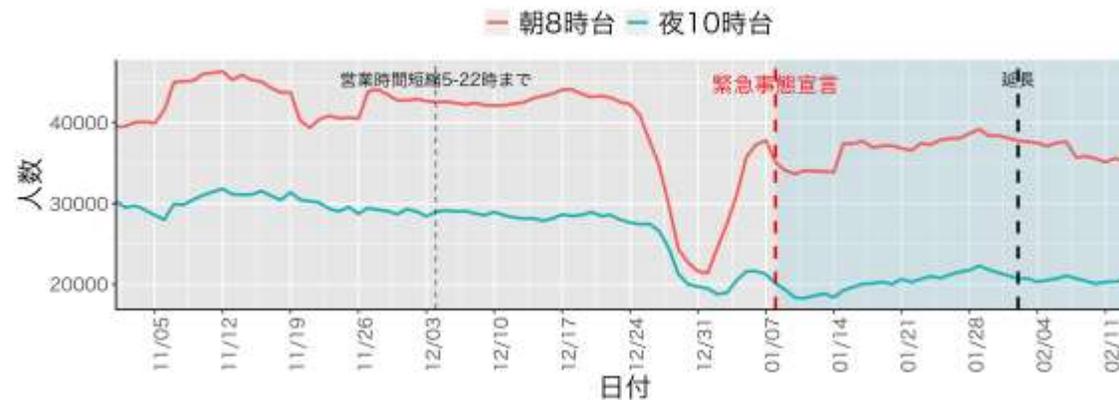
船橋駅



場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
千葉駅	朝8時台	-12.6%	-13.3%
	夜10時台	2.8%	-8.2%
船橋駅	朝8時台	-6.9%	-8.8%
	夜10時台	1.5%	-5.6%

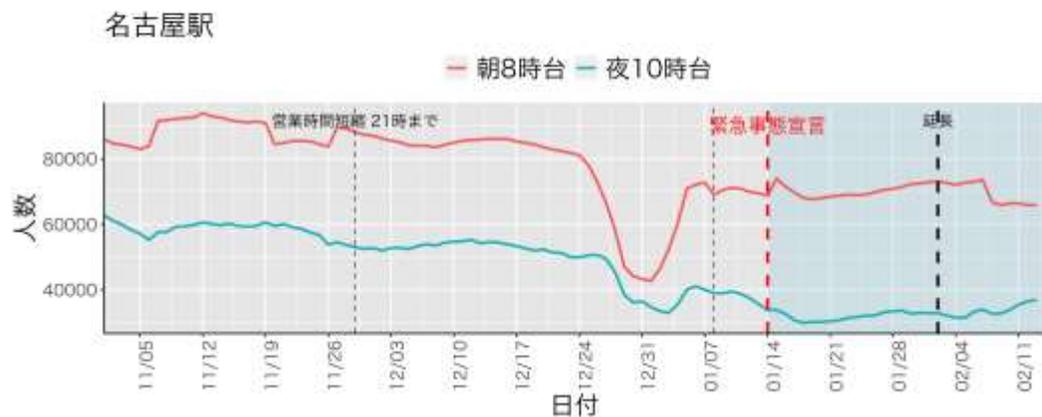
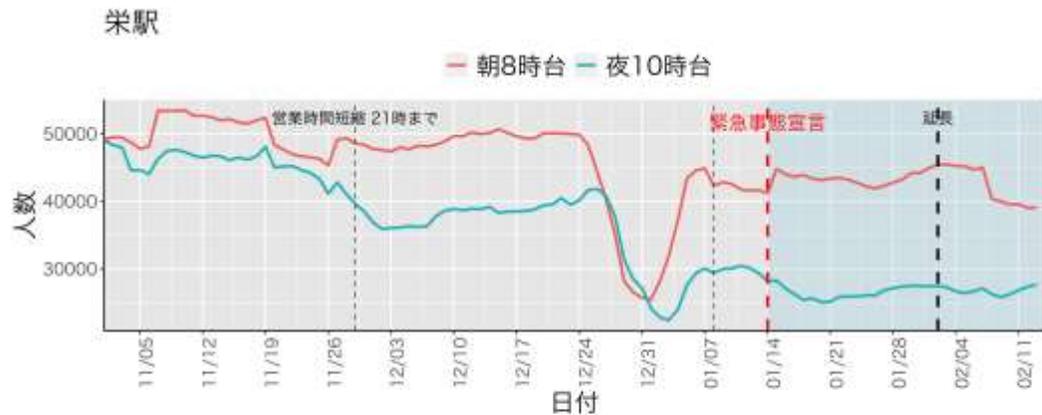
# 埼玉

大宮駅



場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
大宮駅	朝8時台	-6.7%	-11%
	夜10時台	-3.5%	-13.9%

# 愛知



場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
栄駅	朝8時台	-12.9%	-13.1%
	夜10時台	-7.9%	-16.5%
名古屋駅	朝8時台	-9.4%	-9.4%
	夜10時台	-7.7%	-25.3%

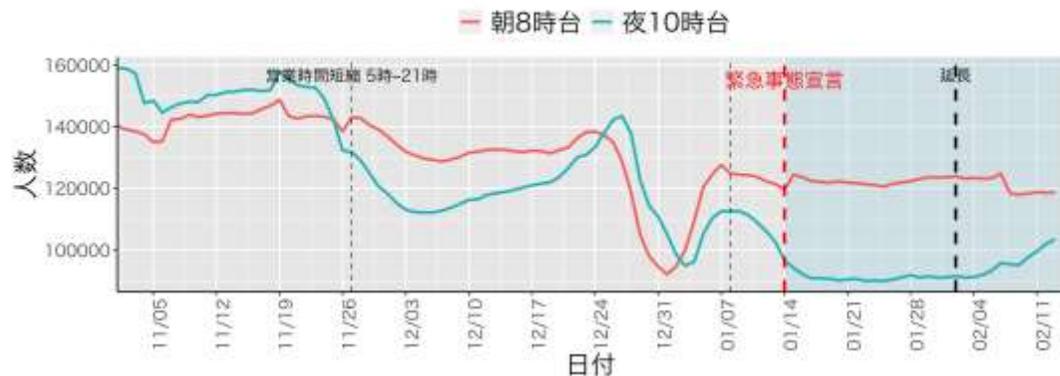
# 岐阜



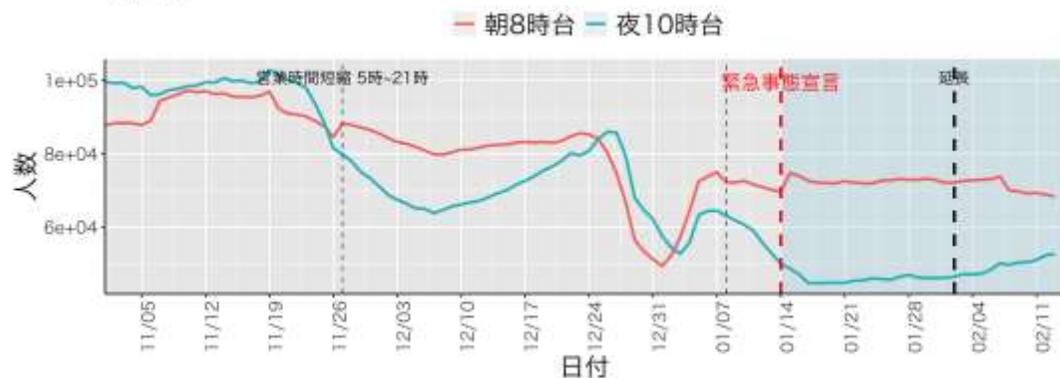
場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
岐阜駅	朝8時台	-0.8%	-4.1%
	夜10時台	3.2%	-10.3%

# 大阪

大阪市 ミナミ



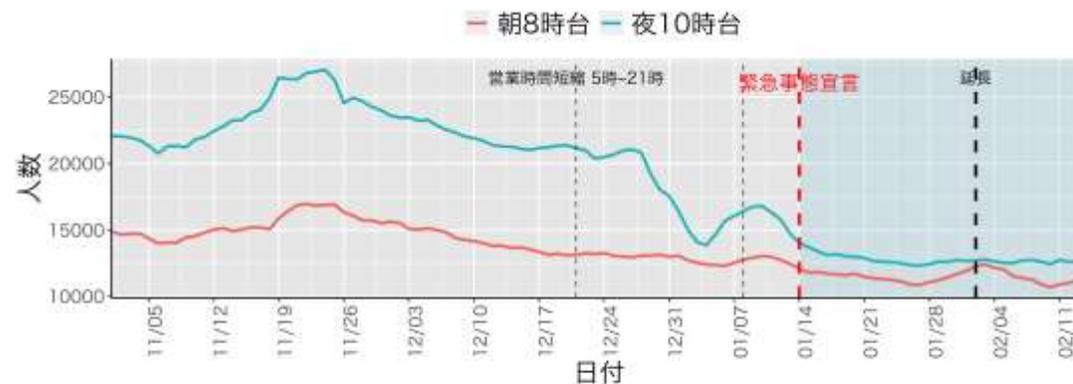
梅田駅



場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
大阪市ミナミ	朝8時台	-7%	-7.6%
	夜10時台	-8.1%	-20.1%
梅田駅	朝8時台	-8.8%	-8.8%
	夜10時台	-18.3%	-30.6%

# 京都

祇園



京都駅



場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
祇園	朝8時台	-10.4%	-14.6%
	夜10時台	-21.6%	-23.2%
京都駅	朝8時台	4.6%	-4.3%
	夜10時台	-4.1%	-25.7%

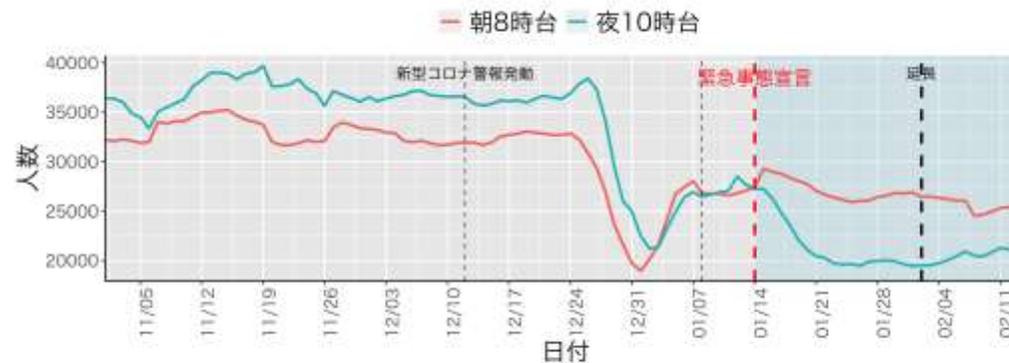
# 兵庫

# 福岡

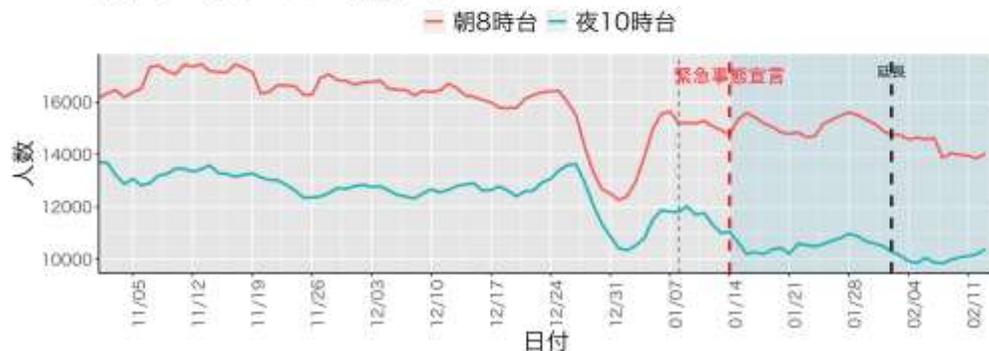
三ノ宮駅



中洲川端駅



神戸市 元町エリア (南京町)



天神駅

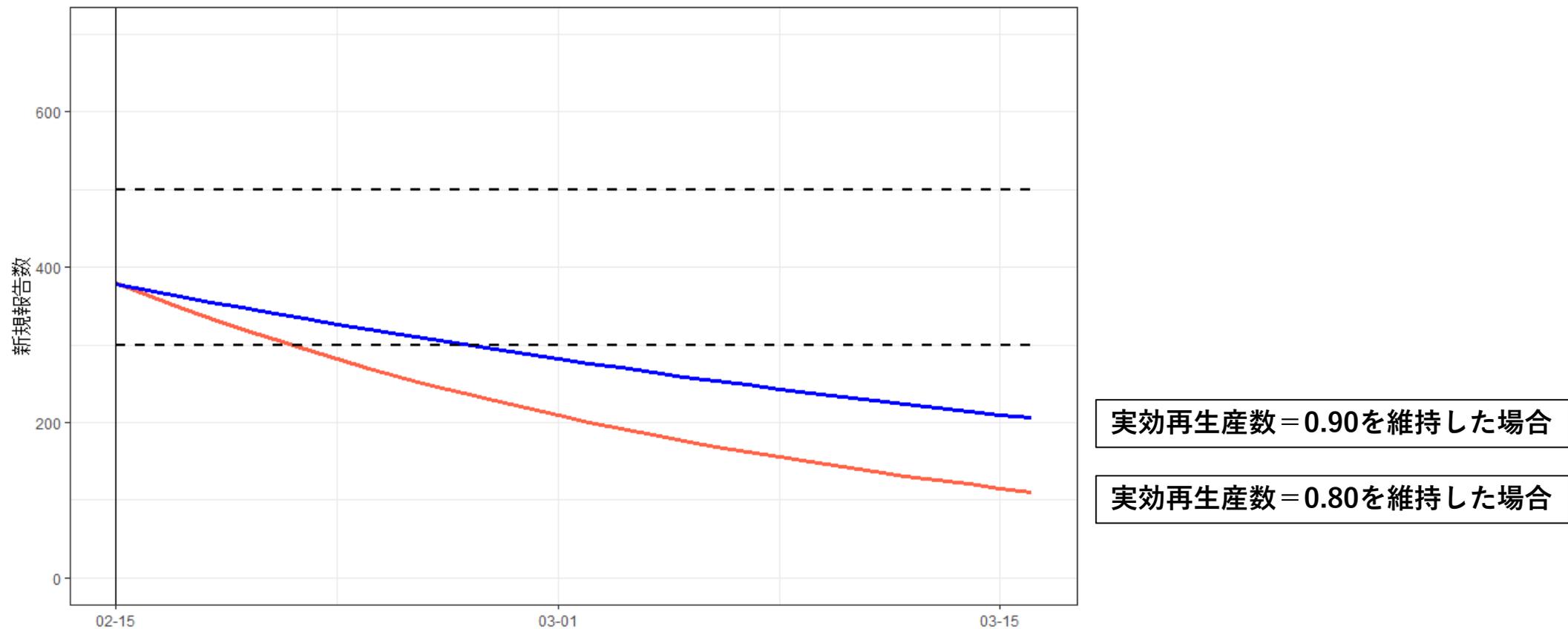


場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
三ノ宮駅	朝8時台	-11.8%	-12.2%
	夜10時台	-34.5%	-38%
神戸市 元町エリア (南京町)	朝8時台	-10.3%	-11.5%
	夜10時台	-12.1%	-16.7%

場所	時間帯	2月14日時点	最大減少幅
中洲川端駅	朝8時台	-8.6%	-12.5%
	夜10時台	-21%	-27.6%
天神駅	朝8時台	-9.4%	-9.6%
	夜10時台	-16.8%	-28.7%

# シミュレーション：東京都を想定（2月17日作成）

2月15日時点での一日の新規報告数を380と仮定



## 直近（5週：2/1~2/7）のインフルエンザ動向

サーベイランス指標（情報源）	レベル	トレンド	コメント
定点当たりのインフルエンザ受診患者報告数 （NESID*、約5000定点）	低 （0.02 [患者報告数98例]）	微増	50週57例、51週70例、52週69例、53週69例、1週73例、2週65例、3週64例、4週64例、5週98例
全国の医療機関を1週間に受診した推計患者数 （NESID*、推計）	低	横ばい	約0.1万人（95%信頼区間：0~0.2万人）
基幹定点からのインフルエンザ入院患者報告数 （NESID*、約500定点）	低	微減	50週5例、51週2例、52週6例、53週9例、1週7例、2週8例、3週3例、4週8例、5週4例
病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・ 検出報告数（NESID*、約500の病原体定点）	低	横ばい	2/15現在、36週以降、43~44週に2例 （A(H1)pdm09） （データは毎日自動更新）
インフルエンザ様疾患発生報告数（全国の保育 所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校における インフルエンザ様症状の患者による学校欠席者 数）	低 （休校0、学年閉鎖0、学級 閉鎖0）	横ばい	36週以降、37週に学年閉鎖1、43週に学級 閉鎖1（北海道）、44週に学級閉鎖1（福岡 県）、45~4週は0、5週は0
国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動 向（全国141の国立病院機構各病院による隔週イ ンフルエンザ迅速抗原検査件数、陽性数）	低 （1/16~1/31:検査数2773、 陽性数3例、陽性率0.11%）	横ばい	3例（A型3例）（1月前半はA型2例B型1例。 12月後半はA型4例。12月前半はA型2 例。）（検査は、診察医師の判断による）
MLインフルエンザ流行前線情報データベース（主 に小児科の有志医師による自主的なインフルエン ザ患者報告数 [迅速診断検査]）	低	横ばい	2/15現在、12月以降、12/2にA型1例、 12/18にB型1例、12/25にA型1例、1/4にB 型1例、1/9にB型1例、1/18にB型1例、2/3 にA型1例 （データは毎日自動更新）

\*2021年第1週からレベルマップ開始：[https://nesid4g.mhlw.go.jp/Hasseidoko/Levelmap/flu/new\\_jmap.html](https://nesid4g.mhlw.go.jp/Hasseidoko/Levelmap/flu/new_jmap.html)